

農とやすらぎの里



議会だより

にき



第96号

2013.2.14

発行／北海道仁木町議会

編集／議会広報編集特別委員会



町の貯金10億円超 23年度決算審査 2

第4回定例会 **23年度決算 すべて認定** 6

町政のそこが聞きたい! 一般質問 9

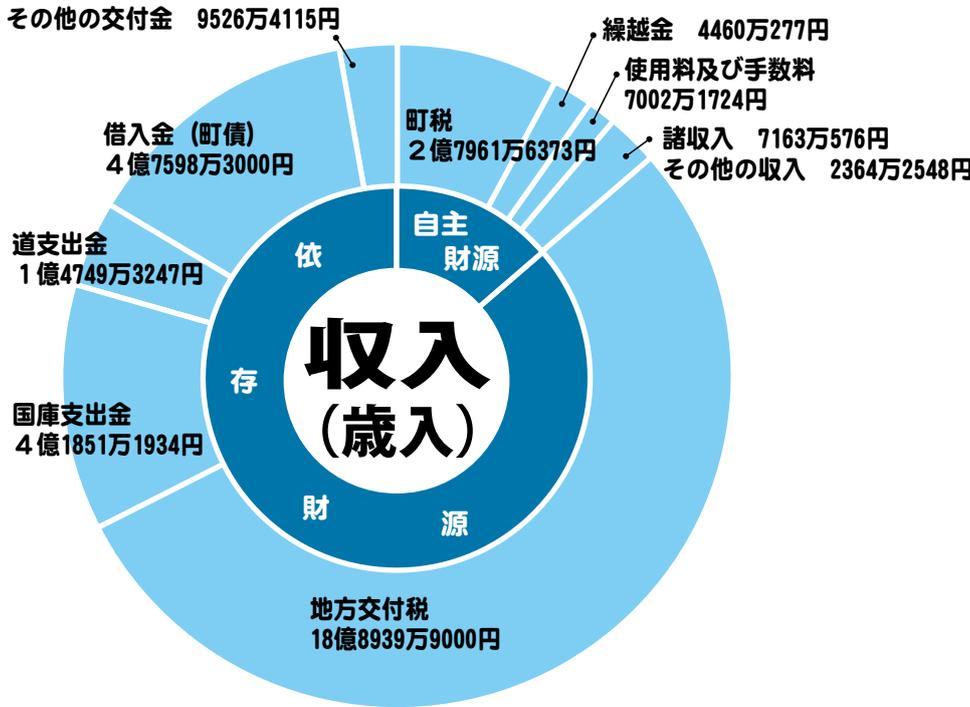
全員協議会 **泊安全確認協定 損害賠償を追加** 12

絆 ~家族のつながり~ / **まちの人** 14



~家族のつながり~
仲良し兄弟、雪あそび! (関連記事14ページ)

10億円超



一般会計 収入(歳入) 合計
35億1616万2794円

平成23年度各会計収支(歳入・歳出)一覽表

会計名	収入(歳入)	支出(歳出)	差引
一般会計	35億1616万2794円	34億9241万4442円	2374万8352円
国民健康保険事業特別会計	2億2641万1924円	2億2545万7615円	95万4309円
簡易水道事業特別会計	4億9200万985円	4億8744万2833円	455万8152円
後期高齢者医療特別会計	5599万2482円	5575万6864円	23万5618円

※平成23年度決算認定は、委員会の審査結果を12月定例会で報告・審議し、本会議で認定可決しています。(詳細は6ページ)

4年間みんなできり組んだ
行財政構造改革プランの成果

町の貯金

◆貯金(基金)残高の推移<一般会計>

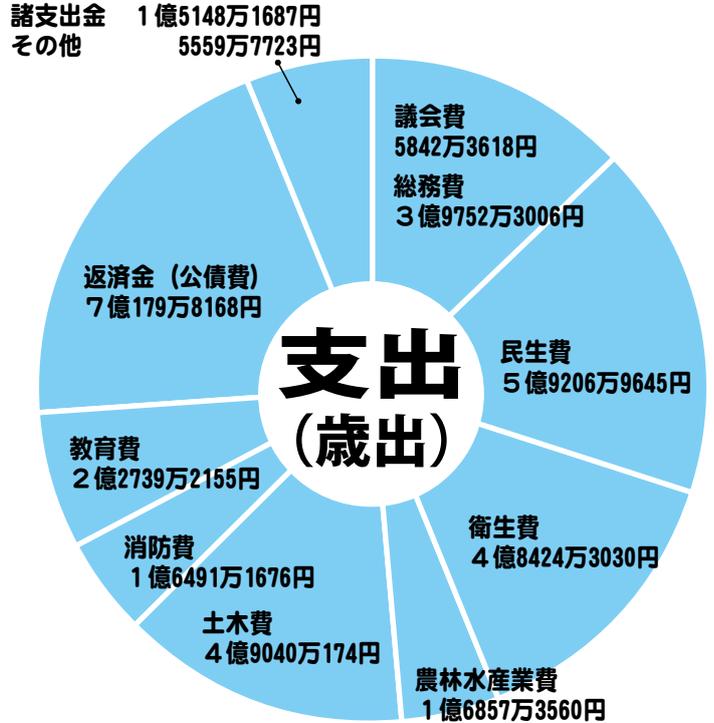


 平成19年度の貯金(基金)は約4億円でしたが、平成20年度から行革プランを実施し、プラン終了年の平成23年度には約10億円の貯金(基金)となりました。

◆借入金(町債)残高の推移<一般会計>



 平成19年度に約53億円あった借入金(町債)ですが、5年間で約14億円を減額することができました。



一般会計 支出(歳出) 合計
34億9241万4442円

収 入(歳入)の53・7%を占める地方交付税は、前年度比1・7%減の18億8939万9000円と数年ぶりに減額措置された一方で、各種交付金を含めた国庫支出金が前年度対比27・7%増の4億1851万934円と大幅に増額されました。

一 般会計の収入(歳入)合計額は、前年度比6・6%増の35億1616万2794円、支出(歳出)合計額は、前年度比7・3%増の34億9241万4442円となりました。

平 成23年度の決算を審議するため、特別委員会(上村委員長)を設置し、一般会計及び国保・簡水・後期高齢者医療の3特別会計を4日間にわたり、慎重に審査した結果、すべての会計を「認定すべきもの」と決定しました。

貯 金(基金)は全体で前年度比16・5%増の10億7614万円となりました。これは、町民と町が一体となって、将来のために取り組んだ行財政構造改革プラン(平成20~23年度)の成果であり、各種財政指標も大きく改善されました。

支 出(歳出)では、ぎんれい36・A棟の建設工事やクリーンセンター新処分場建設、野菜ハウス導入事業などが計画どおり実施されました。

町 税収入は、前年度比4・7%増の2億7961万6373円となりました。前年度と比較すると、徴収率は改善傾向にありますが、未だ約648万円もの収入未済があります。

平成23年度決算 徹底審査

決算委員会質疑

ここでは、各会計決算特別委員会で行われた質疑を要約してお知らせします。

総務費 将来的な運用方法は

住吉 パソコン購入 に関して、本町には現在何台あつて、耐用年数は。また、将来的な運用方法は。

企画課長 パソコンは行政システムで78台、インターネット系で43台あり、本来であれば5年程度で更新をかけたといふ考えている。

副町長 外出支援サービスは、町の見解は。

副町長 外出支援サービスは、町の委託事業の他に社協で実施している事業所分の有償運送がある。町の委託分だけでなく、社協の事業所として本来の事業もあるの、その辺の兼ね合いを見ながら進めていかなければならないと考えている。

民生費 外出支援サービス 運転手賃金の算出方法

横関 生活予防・生活支援事業の外出支援運転手賃金の算出方法は。

ほけん課長 利用者を送つて一度戻り、そしてまた迎えに行くまでの時間で計算している。

横関 本来であれば1日単位の賃金で行う仕事と考える。このような賃金の算出方法だと、いずれ運転手がい



衛生費 町墓地管理料 管理料の算定基準は

山下 町管理の墓地が5か所あり、仁木墓地だけ他と比べ管理料が高いが、この管理料の算定基準は。

住民課長 過去の経緯から、面積や墓碑の管理数などを勘案して算出している。

衛生費 がん検診クーポン 受診率は上がったのか

住吉 クーポン券を利用するのがん検診は医療機関も拡大され、受診しやすくなったと考えるが、23年度の受診率は。

保健係長 23年度末の最終受診率は乳がん検診が25・4%、子宮がん検診が29・8%で、前年度より受診率はアップしている。



農林水産業費

融雪促進特別対策事業 積雪量の判断基準は



横関 融雪促進特別対策事業で、積雪量の基準はあるのか。
農政課長 降雪状況で判断し実施している。今後は、3月上旬の時点で積雪量が1mを超える状況を基準に考えていきたい。

商工費

さくらんぼフェスティバル 記念イベントの効果は



嶋田 さくらんぼフェスティバルで10周年記念イベントを実施したが、どのくらいの効果があったのか。
企画課長 23年度の入場者は1万2000人で、前年度と比べ、約50%近く上回ったことから、イベントの効果はあったと考える。

農林水産業費

未来につながる森づくり事業 伐採・植林した面積は

嶋田 銀山地区の森
農林整備係長 この事業で林は、伐採等で少なくなっている。未来につながる森づくり事業で伐採・植林した面積は23・16畝で、現地確認は行っている。また、現地確認は。

土木費

パークゴルフ場 Cコース7番の改修を



山下 ふれあい遊歩ピア公園パークゴルフ場について、Cコース7番のグリーン手前で水が噴出しているが、なぜ改修しないのか。
企画課長 公認コース検定時にCコース7番を改善するよう指摘を受けたことから、改修に向け検討する。

土木費

町道敷地確定測量 各路線を測量するのか

横関 町道6番線の敷地確定測量、これは起点から終点までなのか。また、今後も各路線の敷地確定測量を随時実施するのか。
土木係長 町道中線から町道裏線の敷地確定測量で、これまで敷地が明確でない部分等について、各地権者から話があったことから、その部分を調査したものである。
また、敷地が明確でないという声があれば現地確認、地籍図等の内容を確認し、その段階にて対応していきたい。

教育費

小学校のグラウンド 水はけの改善方法は



林 小学校グラウンドの水はけが悪すぎる。1日中雨が降ったから3日間使えない。改善方法は何か考えているのか。
教育長 学校からも強雨のあと2〜3日使用できないという話は聞いている。現在、改善方法を検討中である。

平成24年 第4回定例会

平成23年度決算

すべて

の会計を認定

第4回定例会は、12月19日に開会し、同日に閉会しました。
町からは、一般会計補正予算の専決処分、補正予算、条例制定・改正、道路認定、規約変更が上程され、すべての議案を可決しました。
また、委員会提出議案として条例改正、規則改正、議員提出議案として意見書を提出し、すべて可決しました。
なお、第3回定例会で付託された平成23年度各会計の決算認定について、各会計決算特別委員会審査報告書が提出され、本会議において採決した結果、すべての会計を認定しました。（関連記事2～5ページ）
一般質問では、3名の議員が障がい者福祉、環境施策、防災施策について、考えを問いただきました。

決算認定

平成24年第3回定例会において付託された、平成23年度各会計決算認定に係る審査報告書が、各会計決算特別委員会・上村智恵子委員長より報告されました。

委員長報告※の後、一括して質疑を行い、会計ごとに討論・採決をした結果、すべての会計を全員賛成で認定しました。

専決処分

ひとり親家庭等医療費給付費を増額

11月支払分及び今後の見込額を含めたひとり親家庭等医療費給付費、臨時職員採用に伴う経費の増額補正（専決処分）が

委員長報告

一般会計において、墓地の維持管理、イベント補助金の効果、ふれあい遊トピア公園パークゴルフ場の維持管理、町営住宅ガス警報機更新の取り扱い、小・中学生の学力・運動能力向上に向けた取り組み、町有遊休地の有効活用及び町有林の管理状況などの質疑（確認）はあったが、討論はなく、採決の結果、全員賛成により「認定すべきもの」と決定した。

また、特別会計においては、質疑、討論ともになく、採決の結果、すべての特別会計を全員賛成により「認定すべきもの」と決定した。

提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で承認**しました。

衆議院議員総選挙に係る事務費を増額

平成24年12月16日執行の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審

査に係る選挙事務費（報酬、賃金、消耗品費、印刷製本費、郵便料、ポスター掲示場設置・撤去委託料、備品購入費など）の増額補正（専決処分）が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で承認**しました。

今期で勇退

一般質問中に突然の表明



第4回定例会の山下議員の一般質問中に、三浦町長が「任期満了をもって後進に道を譲りたい」と勇退を表明しました。

一般質問中の勇退表明であったため、理由について多くは語りませんでしたが、突然の表明に驚きを隠せませんでした。(関連記事11ページ)



三浦町長の行政報告

救急医療に対する

財政支援の要請

余市協会病院から救急医療に対する財政支援の要請がありました。医療を取り巻く環境は、医師及び看護師等の偏在(都市集中型)が未だ改善されていないのが現状です。

病院の平成23年度決算では、経営努力などにより、約7200万円の黒字経営となりましたが、救急医療部門で約2500万円の赤字額が計上されています。

このことから、北後志地域保健医療対策協議会において、北後志5町村で財政支援することに決定し、負担割合は患者数による実績割で、本町の負担額は約265万円と算出されました。

◆道が原子力防災計画編の修正案を提示

10月19日に開催された北海道防災会議原子力防災対策部会専門委員会にオブザーバーとして出席しました。原子力防災計画編の修正について、避難の長期化を想定し、旅館又はホテル等を避難場所として活用することや避難の手段に自家用車を利用することなどを議論しました。その中で、本町は札幌市大通にあるホテル等が避難場所となる案が示されました。

補正予算

余市協会病院に対し今年も財政支援

一般会計予算は、障害者福祉サービス費等支弁経費、国民年金システムプログラム修正費、余市協会病院救急医療体制維持補助金などの増額補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

国保特別会計予算は、後志広域連合負担金などの増額補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

簡水特別会計予算は、保守点検等の委託料などの執行残による減額補正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

後期高齢者特会予算は高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金事業の実施に伴う増額補正がそれぞれ提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

補正の結果

平成24年度会計

補正額	予算総額
・一般会計(5回目の補正)※専決処分 1000円増	33億7474万円
・一般会計(6回目の補正)※専決処分 398万9000円増	33億7872万9000円
・一般会計(7回目の補正) 1270万円増	33億9142万9000円
・国民健康保険事業特別会計(3回目の補正) 1330万5000円増	2億4705万2000円
・簡易水道事業特別会計(3回目の補正) 616万6000円減	9億8265万8000円
・後期高齢者医療特別会計(3回目の補正) 18万円増	6250万2000円

条例改正

子育て世帯の収入基準を緩和

町営住宅管理条例の一部改正が提案され、審議採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

主な改正点は、地域主権一括法により、入居に関する収入基準を町の条例で定めるものです。

なお、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、義務教育の子のいる世帯の収入基準を緩和するよう、併せて施行規則を改正しています。

町道認定

ぎんれい36前の道路を町道に認定

町道認定(ぎんれい36前)及び銀嶺2号線が提案され、審議・採決の結果2路線を**全員賛成で可決**しました。

路線名	起 点	延長
	終 点	
銀嶺1号線	銀山3丁目1番1地先	176.87m
	銀山2丁目459番1地先	
銀嶺2号線	銀山2丁目459番1地先	132.32m
	銀山2丁目448番地先	

一般質問

町政のそとが聞きたい



若者世代への支援策を要望

意見書

◇次代を担う若者世代支援策を求める意見書

提出議員 住吉 英子
賛成議員 嶋田 茂

産業全体における雇用創出策の集中的実施、正規・非正規の処遇格差解消、非正規でも一定の生活ができるような仕組みの構築、仕事・家庭・育児を持続可能とする環境づくりの推進などを要望するもので、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**し、関係機関に提出しました。

その他の意見書

◇患者数が特に少ない希少疾病用医薬品（ウルトラ・オーファンドラッグ）の開発促進・支援のための法整備等を求める意見書

提出議員 住吉 英子
賛成議員 大野 雅義

全員賛成で可決

◇防災・減災体制再構築推進基本法（防災・減災ニューディール基本法）の制定を求める意見書

提出議員 住吉 英子
賛成議員 横関 一雄

全員賛成で可決

その他の議案

◇メタンハイドレートの実用化を求める意見書

提出議員 住吉 英子
賛成議員 大野 雅義

全員賛成で可決

▼条例制定

◇町が設置する一般廃棄物処理施設に置く技術管理者の資格基準を定める条例の制定

全員賛成で可決

◇水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準を定める条例の制定

全員賛成で可決

▼条例改正

◇防災会議条例の一部改正

全員賛成で可決

◆仁木町議会委員会条例の一部改正

◇提出者

議会運営委員会

委員長 山下敏二

全員賛成で可決

▼規則改正

◆仁木町議会会議規則の一部改正

◇提出者

議会運営委員会

委員長 山下敏二

全員賛成で可決

障害者手帳の制度を平等に！ 精神障がい者にも運賃割引を

町長 バス事業者に要請をしていく



上村智恵子 議員

町政のそとが聞きたい

一般質問

上村議員

上村 ①本町の障がい者福祉計画の中で、「精神障がい者の退院の促進」という事項があるが、具体的にどう推進していくのか。

②身体障害者手帳及び療育手帳には、各交通機関の運賃割引制度があるが平成18年4月に施行された障害者自立支援法において、身体・知的・精神の3障がいを一元化した

にも関わらず、精神障害者保健福祉手帳は運賃割引の制度対象となっていない。平成24年7月に国土交通省の一般乗合旅客自動車運送事業標準約款が一部改定になり、割引制度の対象に精神障害者保健福祉手帳も対象になったと聞いたが、町内を走る交通機関にも適用されるのか。

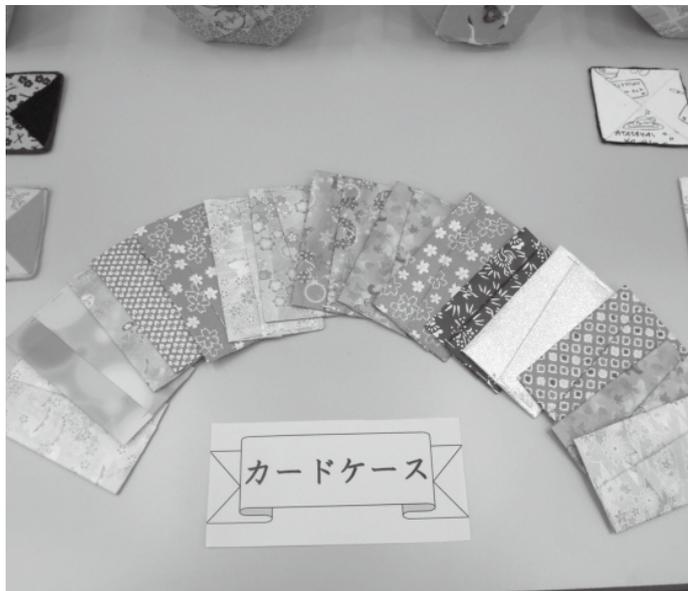
項目	身体	知的	精神	制度の主な概要
JR旅客運賃割引制度	○	○		身体障害者手帳又は療育手帳の交付を受けている方が単独又は介護者とともにJR各社の鉄道及び船を利用した場合。割引率は50%。
航空運賃割引	○	○		12歳以上で身体障害者手帳又は療育手帳の交付を受けている方が航空機を利用する場合。割引率は各航空会社及び路線により異なる。
タクシー料金割引	○	○	△	身体障害者手帳又は療育手帳の交付を受けている方がタクシーを利用する場合。割引率は10%。 ※ただし、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方の割引等は、各社で異なる。
バス運賃割引	○	○	△	身体障害者手帳又は療育手帳の交付を受けている方がバスを利用する場合。割引率は50%。 ※精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方の割引等は、各社で異なる。
有料道路料金割引	○	○		身体障がい者本人が自動車を運転する場合及び重度（第1種）の身体障がい者又は知的障がい者が同乗している場合。割引率は50%。

表：障がい者に関する公共交通の運賃割引制度

上村 この制度を実施しているバス事業者もあるが、義務化されていない。制度を自治体や事業者の判断に任せたままで、地域間格差が生まれると考える。町として、バス事業者に要請できないのか。

町長 ①積極的な医学的治療を必要としない退院が可能なる方に対し、社会生活を送るための日常生活訓練を行うことで、精神障がいのある方の社会的自立を促進する。現在、地域で生活するために必要な条件整備について、しりべし圏域総合支援センターと検討を重ねている。

②現在、町内を運行しているバスは、独自の運送約款を作成しており、中央バスには精神障がい者割引の規定がなく、ニセコバスには規定はあるものの、通常の路線バスには適用していないのとことである。



あゆむ倶楽部参加者の作品（仁木町文化祭）

町長 この度の質問で、運賃割引制度を再認識したことから、今後、町としてバス事業者に対し、要請をしていく。

町長 障がい者に対する助成制度等については、国や道の制度で運用されていると理解している。バス事業者に対し、一歩踏み込んだ要請をしていく考えはあるが、町独自の助成については、今のところ考えていない。

※あゆむ倶楽部：町が実施している社会復帰学級の通称。精神障がいの回復途上にある者に対し、グループ活動を通して生活意欲が持てるよう対人関係を拡大し、協調性、社会性の向上を図るとともに、家庭生活や社会生活に適応、維持するための援助を行うことを目的としている。



大野 雅義 議員

自然エネルギーの活用！ 小水力発電施設の導入を

町長 現時点では難しいが、前向きに考える

環境施策



農村公園フルーツパークにき（東町）

大野

フルーツパークにきは、指定管理者制度で運営し、年間約3000万円の指定管理料が掛かることから、町の大きな負担となっているが、多くの観光客を導く大切な施設と考

える。
6月に総務経済常任委員会において、自然エネルギーの研修視察を行ったが、山梨県都留市の小

水力発電事業では、発電した電力を市役所で使用し、電気料の節減を図っていた。

現在、自然エネルギーの活用が求められていることから、小水力発電施設を設置し、発電した電力をフルーツパークで使用するにより、経費削減が図られると考えるが、町長の見解は。

町長

中の川を管理している北海道に照会したところ、河川本流内に小水力発電の装置を設置することは、河川の断面を阻害するおそれがあると思われるので、水利用の許可は難しいが、河川の水利用に際し、本流の外に小水力発電の装置を設置する場合は、河川の断面を阻害することはないので、水利用の許可が受けやすいのではないかとのことであった。

小水力発電施設については、現時点で導入するのは難しいと判断しているが、今後において設置に対する財政措置等を含め、より良い電力エネルギーの調査・研究を進めていく。

大野

フルーツパークは、本町の指定避難場所でもあるので、万が一のことを考えると、電力を補う施設を設置する必要がある。



かちゅうがわ 家中川小水力市民発電所・元気くん1号（山梨県都留市）

小水力発電に限らず、発電方法は種々あるので、自然エネルギーの活用を本町でも前向きに検討してほしいと考えるが、町長の見解は。

電施設を設置しなければならぬかと考える。

町長 指定避難場所のフルーツパークには、有事の際の発

また、山梨県都留市において実施した研修視察の復命書を読ませてもらったが、市民とともに取り組んで小水力発電を実施したことに刺激を受けた。私も前向きに考えていきたい。

東日本大震災で学んだ教訓！

防災行政無線の早急な整備を

町長 平成25年度から計画どおり整備する

山下

東日本大震災は、巨大津波等により、死者・行方不明者1万人以上という未曾有の大震災であった。多くの市町村では、防災行政無線で避難した方も多く、無線で助かったとの話であった。

本町は、泊発電所から直線で12km、役場庁舎は25kmの位置にあり、海拔は役場庁舎で8・4m、北町12丁目の低地で1・8mと、いずれも低地で

あることから、8月30日に洪水を想定した地域防災訓練が実施されたが、参加者から広報車や消防無線による避難指示等の音声が届き取れなかったとの意見があった。

避難指示等を的確に周知するには各家庭に設置する防災行政無線が一番有効であり、本町の総合計画によると、平成25年度に調査・設計し、翌年度に工事を実施しているが、早急な整備が必要と考える。

この整備計画について町長の見解は、

町長

防災行政無線は、地震や洪水、原子力等の災害が発生した際に住民全員に一斉に情報提供ができ、また、平成23年2月に消防庁で整備した全国瞬時警報システムと連動し、弾道ミサイル情報、緊急地域速報など、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を瞬時に伝達できるなど、非常に有効であると考えている。

町としては、総合計画において、平成25年度に実施設計、26年度に施工としており、この計画どおり、屋外拡声子局及び各家庭への戸別受信機の設置を考えている。

山下

新年度から着手するとのことであるが、町長は、来

春で任期満了を迎える。首長の仕事は、誠に厳しく、責任の重い役職であるが、町民から三浦町長の行政手腕を高く評価する声が届いている。

単刀直入に聞くが、町長は平成25年5月12日に任期満了を迎えることから、4期目に向かって立候補するのか。

町長

私は平成25年5月12日の3期12年の任期満了をもって、潔く引退をし、後進に道を譲りたい。

私は町長を仰せつかるとき、選挙期間が23日間であったため、1日も早く進退について表明することが、次に意欲をもつ



平成24年8月に実施された本町初の地域防災訓練

て出馬を予定している方にとつて大切であると、経験者として以前から考えていた。選挙が平成25年の4月中旬から下旬と想定しても、これから約4か月間あるので、名乗りを上げやすい環境になると考える。

山下

財政のプロと言われた男、本町の隅から隅までを知り尽くしている三浦町長が次期、立起しないことは、誠に残念である。



山下 敏二 議員

全員協議会

泊発電所安全確認協定

協定に損害賠償を追加



おしえて!ギモン博士!

原子力損害とは

◇原子核分裂の際の放射線や熱等により生じた損害、核燃料物質等の放射線や毒性により生じた損害のことです。

◇事故と損害の間に相当因果関係がある損害はすべて含まれ、放射線による身体的損害、物的損害などの直接損害だけでなく逸失利益等の間接損害も原子力損害の対象となりますが、相当因果関係の有無は個別に判断されるため、損害形態によっては地域的、時間的な制限がなされる場合があります。

12月20日に全員協議会を開催し、泊発電所周辺の安全確認等に関する新たな協定について、説明を受けました。

同協定については、8月21日開催の全員協議会において、道原子力安全対策担当局から説明を受けています。

しかし、10月16日に泊発電所周辺市町村協議会（会長 宮谷内・蘭越町長、副会長 三浦町長、山崎・京極町長）が設置され、協定について、各首長及び道と協議してきた結果、12月17日に道から考え方が示されたことにより、新たな協定につ

いて、町から説明を受けたものです。今回、新たに追加された項目は、**立入調査の同行**（道が泊発電所の立入調査を行うときは、町も同行することができる）及び**損害の賠償**（北海道電力株は、道民に対し、泊発電所の運転等により原子力損害を与えた場合は、原子力損害*の賠償に関する法律に基づき、誠意を持って補償する）の2点です。また、前回の説明で懸念されていた風評被害の措置についても、協定に明記されることとなりました。

協定及び覚書を締結

道、後志管内全市町村（泊村、共和町、岩内町、神恵内村を除く）及び北海道電力株は、泊発電所周辺の安全確認等を行うことを目的とした、協定及び覚書を1月16日に締結しました。覚書には、連絡会の設置と平常時及び異常時における連絡などを定めています。

あれからどうなった？ 追跡 質問のゆくえ

議会だよりでは、定例会での一般質問や町民の皆さんからの請願・陳情を掲載していますが、町政にどう反映されたのかを追跡調査していきます。

災害用備蓄物資の 質問 見直しが必要！

女性、乳幼児、高齢者、障がい者等の意見を取り入れた災害用備蓄物資の見直しが必要と考えるが、町長の見解は。

(平成23年第4回定例会・一般質問より)

平成24年度以降に 答弁 食糧を備蓄します

現在、食糧を備蓄していないので、平成24年度以降に乾パンやクラッカーなどの食糧を備蓄していく。



あれから…こうなりました



5月に428食分 現在 購入しました！

平成24年5月に非常食セット（マジックライス、クラッカーなど）を購入（428食分）し、備蓄しました。

また、8月には、乾パン、クラッカーを追加購入（780食分）し、地域避難訓練及び北海道原子力防災訓練時に活用しました。

Assembly topic



(左から) 三浦町長、岩本さん、嶋田さんご夫妻、水田議長

まちの貢献者に感謝

町功労賞・功績賞表彰式

平成24年の表彰式が、11月7日に町民センターで行われ、地域の発展に貢献されたお二人が晴れの栄誉に輝きました。

今年の功労賞には、3期12年にわたり、議会議員として地方自治に貢献された嶋田 貢さんが受賞され、また、功績賞は43年にわたり、仁木消防団員として地域防災活動に貢献された岩本 守さんが受賞されました。

嶋田元議員は、議会の要職を数々歴任し、円滑な議会運営や地域貢献に大きく寄与されました。先輩議員の偉大なる功労に対し、深甚なる敬意を表します。

受賞されました嶋田さん、岩本さん、誠におめでとうございます。

子育ては家族みんなで！ 笑顔につながる助け合い

小野さんファミリー（東町15）

東町在住の小野義春さんは三世大家族！
3人のお孫さんがいる笑顔が素敵な大家族です。
表紙の写真は、寒さに負けず雪遊びをしていたお孫さんです。

◎農作物は何を栽培しているんですか。

「サクランボやプルーン、ぶどうなど、果樹を中心に栽培しています。仁木は果樹の町なので、果樹産業に対する補助を更に充実してもらえると助かります。また、離農者が増えているので、耕作放棄地の対策をお願いしたいです」

◎3人のママ・友規子さんは仁木の子育て環境について、どう思いますか。

「保健師さんも親切で、子育てしやすいです。あと、牛乳券は本当にありがたいです」



◎義春さんの奥様・峰子さんが言っていた『子育ては家族みんなで』という言葉。
みんなで子育てすることの大切さ。核家族が増えていますが、家族だけでなく、昔のように地域も協力して子育てしなければと感じました。
(取材・インタビュー 大野雅義)

◎町や議会に対して望むことはありますか。

「山手なので、道路の除雪が大変です。孫の通学環境が今から心配になります。また、議会傍聴には、時間が合わずなかなか行くことができませんね」



平成25年・新成人

- (男性3名) 佐藤 絵莉さん 鹿内 実美さん
- 新藤 愛美さん
- (女性3名) 金家 和広さん 木内 夏海さん



平成25年新成人式は、穏やかな天候の中、1月13日に町民センターで開催され、26人の新成人が誕生しました。

新成人に「将来の仁木町に望むこと」を聞いたところ、

「仁木は自然豊かな美しい町なので、大きな建物をあまり建てて欲しくない」との答えに、改めて本町の自然の大切さを考えさせられました。

成人おめでとう！

また、将来の夢を聞いたところ、「現在は学生なので、卒業後は公務員か、研究開発関係の職に就きたい」「専門学校で勉強して、将来は保育士になりたい」「もっと仁木を盛り上げていきたい」など、夢に向かって邁進する若者の前途が明るいものであるよう願っています。
今後の日本を背負っていく若者たちに、大いに期待したいものです。

(取材 嶋田 茂・大野雅義)



厳しい寒さが続く北海道ですが、東京都心では成人の日に7年ぶりの大雪が降り、成人式に向かう新成人の方々は大変だったことと思います。
さて、本町の成人式は、1月13日に行われ、渡邊選挙管理委員長から「今年は町長選挙と参議院議員選挙があるので、棄権せずぜひ投票へ」との言葉がありました。
昨年12月の衆議院議員選挙の投票率は、戦後最低水準となり、国民の政治不信は頂点に達したと言えます。

私たちも町民の皆さんに議会を身近に感じていただきたく、議会改革特別委員会でも種々議論しています。皆さんの関心が議員を育てますので、たくさんのご意見をお寄せください。

〈上村智恵子〉

次の議会は 3月定例会 (3月上旬を予定)

ぜひ傍聴に来てください

- ◆編集・発行責任者 議長 水田 正
- ◆議会広報編集特別委員会
委員長 住吉 英子
副委員長 嶋田 茂
委員 大野 雅義
委員 上村智恵子

寄附行為の禁止

議員は、選挙区内の方にお金や物を贈ることは、法律で禁止されています。
また、有権者が求めてもいません。
ご理解をお願いします。